

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第201号

令和元年(2019)12月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

栗拾いや梨狩りで秋を楽しむ 地区委員会のバスツアー

青少年対策荏原第一地区委員会による
初秋の企画「親子で行こう！秋の味覚！
くり拾い・なし狩りバスツアー」が9月
29日(日)に実施されました。
当日は気持ちの良い秋晴れとなり、参
加者総勢76人全員がワクワクした気持ち
で、バスに乗り込みました。

行き先は茨城県かすみがうら市にある
「矢口果樹園」。かすみがうら市千代田地
区最大の農園です。果樹園に到着し、農
園の中を散策しながら栗拾い場へ。昆虫
や自然の生き物があちらこちらから顔を
出し、子どもたちは大喜びです。栗は木
の上で十分に熟すと、自然にイガが開き
実が落ちてくるのだそうです。大きな栗
や、指で押して実が詰まっていそうなも
のを選びすぐり、親子でたくさん拾うこ
とができました。

栗拾いが終わると、ちよつと早めの昼
食タイム。青空の下、ぶどうの木の下で
レジャーシートを広げてお弁当をいただ
きました。家族や友達とともに、にぎ
やかな昼食となりました。みずみずしい梨
が木にたくさんなっています。手でもい
でプラスチックナイフを使い、その場で
皮をむき新鮮な梨をいただきました。小
さいお子さんも上手に皮をむいて、果汁
たっぷりの梨にかぶりつき「とってもお
いしい！」と喜びの声があふれていまし
た。



ぶどうの木の下での昼食

武蔵小山へ帰るバスの車内では、
眠りについて身体を休めたり、静か
にDVD鑑賞をする子どもたち。
途中、道の駅に寄りひと休みも。霞
ヶ浦の雄大な景色を眺めながら、ご
当地グルメを食べ、地元産の野菜や
お菓子のお土産を購入しました。そ
してバスは無事に武蔵小山に到着し
全行程が終了しました。

あわせ俳句で脳トレを

さる11月20日(水)午後2時より、
荏原第一地域センターにおいて「ふ
れあい健康塾」の定例会が開かれま
した。
出席者は18名。いつものように講

師の指導のもと、全身の筋肉をほぐす歌体
操などを行い、後半は「あわせ俳句」を作
って楽しみました。
俳句のテーマは「秋」。最初は俳句の上
五・中七・下五を作る3グループに分かれ
ます。句箋を前にして、鉛筆を握る皆さん
の表情は真剣そのものでした。それぞれの
グループから句箋を集めて、組み合わせを
考えながら、一句に仕立てていきました。
たくさん俳句ができましたが、上
位に選ばれた四句をご紹介します。

- ◎秋晴や 雲ひとつなき 七五三
- ◎銀杏の 木手をつなぐ子の 笑顔かな
- ◎富士山や 雪の帽子を かぶる頃
- ◎秋の夜 化粧落して 読書する

(荏原第一地区健康づくり推進委員会
代表・吉田 久美子)

自然災害に備えて 要支援者対策を強化 中原共和町会

災害時に自主避難が困難な方を「避難行
動要支援者(要支援者)」と呼びます。い
つ災害が起こってもおかしくない今、いざ
という時の支援体制をしっかりと作っておく
ことが重要です。
そんな中、中原共和町会では、昨年モデ
ル地区として他町会に先駆けて「避難行動
要支援者の支援体制づくり」への取り組み
を行いました。その内容をご紹介します。

まず昨年9月、要支援者の個別計画書を
作成しました。個別計画書とは、要支援者
の所在地や状況等はもちろん、配慮事項に
ついて記載したものです。支援を行うため
には、平常時からの関係づくりが重要であ
り、両者のコミュニケーションづくりなど
も確認しました。

そして10月には、避難誘導ワークショップ
を実施。要支援者にも参加していただき、
災害時に起こりうる被害を考えながら、車
いすでも通りやすい避難経路の検討や、災
害時の危険個所を確認することができまし
た。

今後の課題は、マンションでの要支援者
の避難誘導について、エレベーターが使用
できない場合等の対応について検討するこ
とです。これまでの経験を生かして、継続

的に活動を続けるとともに、マンションの自
治会との連携についても検討していきたいと
考えています。

(中原共和町会会長・小野澤 昭裕)

創刊200号に寄せて

『まちかど』を通して 町会員同士の親睦をはかる

「継続は力なり」。先ずはおめでとうござ
います。そしてこれを支えてくれた皆さん
本当にご苦労様でした。

昭和61年7月の創刊のこと。私が44歳
の時、もう33年前のことです。私は定年ま
で「まちかど」を知らず、読んだこともあ
りませんでした。その後、近所に住む同期
の友人と共に町会活動に参加し、初めて
「まちかど」を知りました。「へえー、温
かい街のにおいがするいい名称だなあ」こ
れが第一印象でした。

中身も地域ならではの情報や話題、花め
ぐり、地域の人たちが投稿した俳句・川
柳・短歌など、身近な街の空気が伝わって
きました。毎号読もう、そして近所の人た
ちにも読んでもらおうと思ひ、以来私の担
当区域51軒の皆さんに毎号個別配布してい
ます。「まちかど」を通して同じ街に住む
人々がどこかでつながってほしいという思
いからでした。たまに私の知り合いが投稿
している文章や句を見ると、一層親近感が
湧いてきました。

先日、「まちかど」を個別配布している
戸建30軒の皆さんに「たまには一杯やりな
がら語り合いませんか」と呼びかけると、
20名が参加してくれました。40代と80代ま
で、男性14名女性6名、一人暮らしの高齡
者、4年前に引越してきた共働きの夫婦、
事業主の父子等、普段近所に住みながらほ
んど付き合ひのない人も含め、多彩なメ
ンバーの顔合わせでした。乾杯のあと全員
で自己紹介、その後はあちこちで話に花が
咲き、最後はカラオケで大いに唄い、大変
楽しく親交を深め合ったひとときとなりま
した。まさに「まちかど」の雰囲気でした。
200号を機に「まちかど」が地域の皆
さんにより愛読され温かい街づくりの一役
買ってもらうよう祈念致します。

(荏原4丁目町会
副会長・大高一浩)

花めぐり

ハナキリン

ハナキリンは名前通り、長い首の先に可愛い鮮やかな赤い花を咲かせるトウダイグサ科の多肉植物です。多肉植物とは葉、茎、根の肉部の柔組織に水を貯蔵している植物です。首のように長い茎には2cmほどの鋭いトゲがあります。



あたたかな場所であれば、一年中花を咲かせます。この珍しいハナキリンは、荏原2丁目の加藤さんのお宅に咲いています。40年程前から育てているそうです。「寒いとお家の中に入れたりするのよ」と楽しそうに話してくださいました。

大切に育てられているハナキリン、皆様も是非ご覧ください。

(中原共和・青木 富代)